令和３年１月７日

ご利用者・ご家族　各位

清山会医療福祉グループ

代表　山崎英樹

（公　印　省　略）

応援派遣に関するお知らせとお願いについて

平素より当グループの運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、ご承知のように、新型コロナウイルスの急速な感染増加が伝えられています。これにともない、予めご理解いただきたいことについて、下記にお知らせとお願いを申し上げます。

記

今後、市中感染が広がった場合、どんなに水際対策を強化しても、いつかは介護施設で感染者が発生すると考えなければなりません。感染者が発生した施設では、濃厚接触と判定された職員や、その後のPCR検査で陽性と判明した無症状の職員は自宅待機となり、深刻な人員不足を生じる可能性があります。こうしたことから、宮城県では、法人内の協力体制だけでは人員を確保することが難しい場合に備えて、他法人から応援職員を派遣する体制を整備しました。

※宮城県の応援職員派遣マニュアル

<https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/826229.pdf>

また、医療体制が逼迫すると、施設で感染した要介護高齢者の入院が困難になり、介護施設で集団感染が広がる可能性があります。こうした事態を緩和するため、宮城県では、要介護高齢者が入院する医療機関に対し、高齢者医療支援チーム（介護チーム）の派遣を決め、早くから感染対策を整備し、実績を積んできた当グループに委託したい旨、要請がありました。

※関連するニュース映像

<https://www.izuminomori.jp/files/201210/files/201210KHB.mp4>

<https://www.izuminomori.jp/files/201223/files/20201223KHB.mp4>

当グループとしては、自施設で発生した場合の対応を優先する方針ですが、自施設で発生していない段階で宮城県から派遣要請があった場合には、できるだけ応じることと致しました。

これにともない、派遣元の事業所では、想定される派遣期間である14日間と、その後の健康観察期間14日間を合わせて最長で28日間は、派遣職員1名分の欠員を生じます。残った職員で従前の介護サービスの質を担保するように努めますが、状況によってはサービスをスリム化して対応せざるを得ない場合が生じる可能性を否定できません。

県内の介護崩壊を防ぎ、重症化リスクの高い要介護高齢者の命を守るためにはやむを得ない緊急事態であることを踏まえ、ご利用者およびご家族の皆さまには、何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

医療介護部長　菊池　保　０２２－７７１－１８５２